



新入生の皆さん ご入学おめでとうございます。歴史と伝統を誇る山北高校へようこそ。196名の皆さんの入学を心から歓迎いたします。

そして、これまで愛情をもって お子様の成長を支えてこられた保護者の皆様、心よりお祝いを申し上げます。

また、本校PTA会長 瀬戸 忍様をはじめ、多くのご来賓の皆様に、本日ご臨席を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

さて、早速ですが、新入生の皆さんに、高校生活をスタートするにあたり、一つ、私から質問したいことがあります。皆さんは、何のために高校へ来ましたか。よく聞く答えが、「中学校を卒業したら、高校に行くことが当たり前だから。」「みんなが行っているから。」確かに多くの皆さんが、高校へ進学していることは事実ですし、当たり前、という人もいるかもしれません。

しかし、そんな理由に惑わされず、自分の頭で、高校に来た理由や目的を、改めて考えることは、とても大切なことだと私は思います。

「こんな自分になりたい。」「今の自分を変えたい。」「今できないことを、できるようになりたい。」「本当の友達欲しい。」など、高校へ来た理由や目的は、人それぞれ、様々な理由でいいと思いますし、そこに優劣はないと思います。理由や目的の中身は、変化していくこともあります。これまでの歴史を振り返ってみましても、計画通り、予想通りの人生を歩んできた人なんて、いません。

本校に入学されて、どんなチャレンジをするかは、皆さん自身で考え、悩み、選択して決めてください。本校が掲げる、教育目標「自他を思いやる力」「挑戦する力」「伝わる力」「未来を切り拓く力」「協働する力」この5つの力を、身に付ける教育活動を、山北高校では、行っております。しかし、これらは決して、誰かに言われてやるものではなく、自分自身で考え 自らの力で人生を切り拓くんだ。という意味であり、すなわち、これからの皆さんの「生き方」です。

今の社会は、予測不可能な時代だと、言われています。でも、考えてみてください。予測できる社会って、幸せでしょうか。我々は、挑戦と失敗を繰り返しながら、たまにある成功体験と、その先にある一瞬の充実感や喜びを感じることで、自然とまた、走り出すことができます。これを継続するうちに、どんな環境でも、課題を見つけ、これを乗り越える力が、身に付いているはずです。このような力を身に着けるためには、決して失敗を恐れないこと。変化を恐れないことです。今日、皆さんは、今新しい環境で、チャレンジしてくれています。「クラスにはどんな同級生がいるのか。友達はあるのか。」新しい環境にチャレンジするときは、みんなそんな気持ちを抱くと思います。しかし、そんな最初の不安を、乗り越えた先に、きっと信頼できる素晴らしい友に出会えたり、新たな居場所が生まれたりすることがあります。

「登る山を決めたら、もう半分登ったのと同じだ。」という言葉があります。それだけ目標を決めることがいかに大事なことかということです。また、山北高校には、「未来探究」という探究学習の授業があります。先生方だけではなく、山北町の外部機関や地域の方々と出会う機会がたくさんあります。

ぜひ、自分の人生をどんなものにしたいか、高校生活のうちに、様々な人と出会い、なりたい自分を目指して夢に向かっていきましょう。

保護者の皆様、今後は、お子様の成長を、共に支援する、チームメイトとして、信頼しあい、「あー山高でよかった」と思っていただけのように、尽力いたしますので、何卒ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

最後になりますが、未来を担う、人材の育成という、崇高な使命を自覚し、入学生の皆さんの、限らない可能性を祝して、私からの祝辞のことばとさせていただきます。

令和6年4月9日

校長 多田 功